

乙訓にすむ人 働く人 でつくる

第18回 乙訓総合文化祭

第18回「乙訓総合文化祭」を11月21日から23日までの3日間、長岡労働センターで開催します。

乙訓の住民、乙訓に働く者でつくる総合文化祭。文化祭事務局では、日ごろ、職場のサークルで、また家庭でつくり出されたあなたの作品の機会として、各種の作品を募集しています。募集要項は次のとおりです。

▽募集項目 手芸・人形・絵画・写真・民芸(陶芸)・生花・盆栽・盆石・書道・彫刻

▽受付期間 11月9日～17日

参加・出品ください

日 午前9時30分～午後4時30分

▽お問い合わせ 乙訓総合文化祭事務局 電話931-0777

乙訓総合文化祭と関連行事の日程は次のとおりです。

▽開業・将棋大会(初心者から有段者までクラス別に争います) 11月3日(火) 午前9時受付 長岡労働センター

▽文化祭開会式・表彰式・作品展示の一般公開(茶席の特設、各種料理の展示・試食コーナーもあり) 11月21日(土)

午前10時～午後8時 22日(日) 午前9時30分～午後8時 23日(祝) 午前9時30分～午後4時 長岡労働センター

▽市民映画会「青い山脈」 11月25日(水) 午後5時開演 長岡産業文化会館

▽サークル交流発表会(うたこえ・詩吟・扇舞・民謡・社交ダンス・民舞・ブラスバンドなど) 11月29日(日) 午前11時30分～ 長岡労働センター

▽休館日 1日(日)・3日(祝)・9日(月)・15日(日)・22日(日)・23日(祝)・29日(日)

▽清掃の日(老人福祉センター内)

11月の行事予定

老人福祉センター

外 5日(木) 午前10時30分～11時30分

▽血圧測定 5日(木)・19日(木) 午後1時30分～3時30分

▽独居老人食宴会 6日(金)・20日(金) 午前11時30分～午後1時

▽園遊会 8日(日) 午前11時～午後3時

▽高齢者職業相談 10日(火) 午前10時～午後4時

▽健康相談 13日(金)・27日(金) 午後2時～3時30分

▽浪曲スライド 30日(日) 午後1時～2時

必ず受けて!

新一年生の健康診断

来年4月に小学校に入学される児童(昭和56年4月2日生～51年4月1日生)の健康診断を行います。それぞれ指定された小学校で必ず受けてください。

なお、私立小学校への入学予定児童については、通学区域の小学校で健康診断を受けてください。

また、当日、どうしても健康診断が受けられない方は、前もって市教育委員会までご連絡ください。

電話931-1181

11月2日 子宮ガン検診申込み日

▽とき 11月2日(月) 午前9時～正午 午後1時～4時

▽場所 市役所支関ロビー

▽対象 30歳以上の女性

※申込みには住所・氏名・年齢・生年月日・電話番号・世帯主名が必要で、また、返信用切手・封筒・必要事項を書いたものに限り、郵送でも受付します。

▽受診方法

▽期間 11月30日まで

▽場所 府下、京都市内の産婦人科医療機関

▽費用 300円

▽お問い合わせ 健康管理課 内線2302



市史編さん活動日誌から②

平田篤胤は、著書の御所への献上、本居宗家訪問、宣長の墓所、山室山参詣という年来の宿願をいだし、文政六年(一八二三)八月上京した。

京都の国学は、宣長の本旨は道にありとする御所(ぬでのや)・城戸千鶴らが主流であり、古道を旨とする篤胤には数々の妨害があった。

こうした中で服部中庸(はつとりなかつね)、向日神社神主六人部節香(むとべさたか)、是香(よししか)父子の力が篤胤を暖かくもてなし、とくに六人部父子は、仁孝天皇への著書の献上に尽力したことは、前回ふれたところである。

篤胤と是香と (その2) 宮城公子 (四天王寺国際仏教大学助教授)

をたたかわせた経緯があったが、太平の寛大な人柄からか、篤胤に心よく面会し、両者は終始温かな雰囲気の中に歓談した。「道のため学のために、かく計、いそしむ人はまたあらめや」とは、太平が篤胤に贈った歌である。

この時篤胤は、太平より宣長の遺代(たましろ)として、二つ伝えられた笏形の墨牌の一つと、宣長の画像を贈られた。篤胤はこれを「幽契」目に見えぬ神とのちぎりと感涙にむせぶまに奈良、初瀬を経て松坂に着き、十一月秋も深まった頃、山室山の宣長の墓に詣る。「をしへ子の千五百多き中ゆげに吾を使ひます御霊長(みたまかしこ)し」とは、墓前での詠草である。京都での服部中庸、六人部父子の尽力と本居宗家の思わぬ接待が、宣長の御霊をどう唱へ、うけついでであろうか。

ふらせたのであろう。この篤胤の上京、関西遊歴は、古道への確信を強めさせ篤胤の学問の展開の上に大きな画期となった。

江戸へ帰つくと篤胤は、師走に六人部是香宛に、帝京中の礼状を認めるが、その末尾に「暮迄には御婚儀も御調可有奉賀祝候」とあるから、この頃是香は、結婚したものと思われる。

翌文政七年(一八二四)師走には、是香宛に以来一年大作「古史伝」の著述に没頭しており、これは、わが国のものでも尊いゆえ人を考え出したもので、これによって、シナ・インドの文化学問も、わが国に由来することが論証出来、そうすれば蘭学者なども大きな顔は出来なだらうと述べる。

篤胤は、自己のこともよき理解者である是香に完成間近い著書を書いて、その構想はますます壮大になる。是香はこうした篤胤学を、どう唱へ、うけついでであろうか。

ゴミ減量に一層のご協力を

燃えないゴミの分別収集も、みなさんのご協力により、すっかり定着してきました。昭和56年度上半期(4月～9月)の分別収集量は下記のとおりです。これからも一層のゴミ減らし。また、住みよいまちづくりのため、市民のみなさんのご協力をお願いします。

昭和56年度上半期分別収集量 (56年4月～9月 単位: kg)

分類	金属類	アルミ缶	空き缶	ビン類	埋立類	計
4	9,750	294	10,250	33,050	9,450	62,794
5	10,350	360	12,000	35,050	10,900	68,660
6	9,050	339	12,300	32,300	10,300	64,289
7	11,000	442	16,040	40,800	10,063	78,345
8	10,300	344	18,220	42,400	6,970	78,234
9	9,500	320	16,940	38,400	6,320	71,480
計	59,950	2,099	85,750	222,000	54,003	423,802
率(%)	14.15	0.50	20.23	52.38	12.74	100

第4回向日市バドミントン大会

▷とき 11月29日(日) 午前9時～

▷ところ 第4乙訓中学校体育館

▷種目 男子ダブルス・女子ダブルス 親子ダブルス(エキジビション)

▷資格 満18歳以上の向日市民の方(ただし、親子ダブルスの子どもの年齢は不問)

▷参加料 1人 200円 親子ダブルスについては1チーム 100円

▷申込み期限 11月25日(水) ▷定員 50組

▷申込み・お問い合わせ 教育委員会 電話931-1181

▷主催 (財)向日市社会体育振興会

ことば きこえ の教室 ⑥

●吃音(下)

今回は学童期以降の吃音について説明します。三歳前後に吃音が出て、それが改善されないまま、もちこされたのが学童期以降の吃音です。従って学童の吃音は成育歴を見直す必要があります。吃音は、入学後一、二年するとそろそろ吃音を自覚し始めるケースが多い様です。その結果話したがらない、集団に参加したがらないなどの消極的な行動をとり始める恐れが出てきます(二次的障害)。

私たちは吃音について「治そうとして治るものではない、克服することによってことばの障害でなくなる」と考えています。

この欄についての感想・ご質問・ご意見を寄せてください。

ことばきこえの相談 田邊士郎 午前中

▽ところ 第6回向日小 電話934-0403